

## モンゴルにおける血液透析および水質管理の技術研修および 水質の実態調査と水質管理ガイドライン作成支援

### ● 現地の状況やニーズなどの背景情報を記載(2行程度)

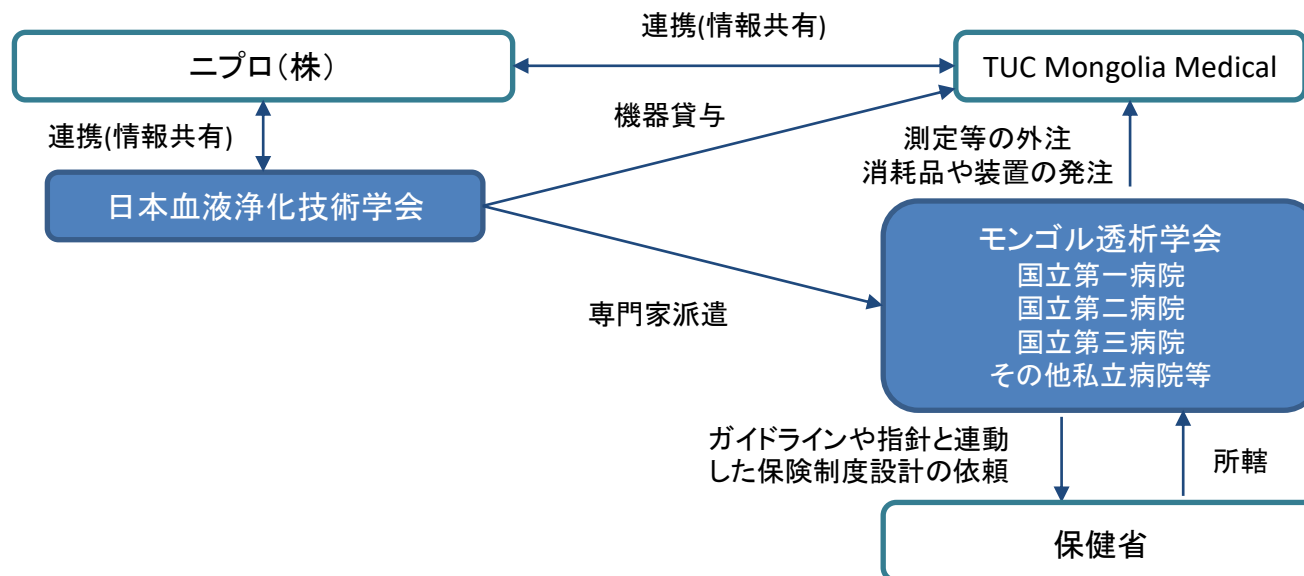
透析機器メンテナンスの方法や教育体制が確立されていない。特に、患者の発熱・血圧低下などを引き起こす可能性のある透析液の汚染に対する水質管理が行われておらず、いくつかの施設では、高度に汚染されていることが確認されており、早急な対策が必要である。それらを解決するために、モンゴル国内の水質基準、清浄化のための管理方法を周知するためのガイドラインの策定が必要である。

### ● 日本の医療や事業者の強みに言及しつつ、事業の概要(日本のどこの機関が、他国のどこの機関と、どのような内容の研修、専門家派遣を行うのか)を記載(3行程度)

本事業では、日本血液浄化技術学会がモンゴル透析学会および国立第一病院・国立第二病院・国立第三病院と協力し、ウランバートルの透析医療従事者に対し透析医療における特に技術面での研修を行う。また、各施設において、水質管理のための技術研修を行い、各施設で水質管理ができるようにするとともに、モンゴル透析学会が水質管理のガイドラインを作成のために必要な支援を行い、ガイドラインの実効性の確認する。

### ● 本事業で期待される成果や、その後に見込まれる波及効果等を記載(2行程度)

モンゴルの実情に合った透析液清浄化ガイドラインを日本血液浄化技術学会メンバーがガイドライン作成メンバー(現地医師・看護師・エンジニア等)と共に本事業期間中に策定し、必要な機器等販売網や検査受注システムを構築するなど、持続可能な技術伝承を行う。それによりモンゴルにおける血液浄化技術の持続可能な発展が期待できる。



＜研修スケジュール予定＞

- 2021年8月 WEBセミナー(35名)
  - ・水質確保の重要性と意義
- 2022年1月 現地研修(35名)
  - ・血液浄化
- 2021年8月・2022年1月 専門家派遣(2名・6名)
  - ・合同セミナーでの講義
  - ・水質検査支援
  - ・ガイドライン策定支援 等